

県内の少年非行(令和元年11月末)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、平成30年は確定値、令和元年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

令和元年11月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は1,756人で前年同期(2,078人)に比べて322人(15.5パーセント)減少、不良行為少年は13,972人で、前年同期(16,905人)に比べて2,933人(17.3パーセント)減少している。

区分	年別	令和元年	平成30年	増減	
		11月末	11月末	人員	率(%)
非 行 少 年	犯罪少年	951	1,232	-281	-22.8
	触法少年	399	425	-26	-6.1
	計	1,350	1,657	-307	-18.5
	特別法犯	199	216	-17	-7.9
	触法少年	77	60	17	28.3
	計	276	276		
ぐ犯少年	130	145	-15	-10.3	
合計	1,756	2,078	-322	-15.5	
不良行為少年		13,972	16,905	-2,933	-17.3

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	令和元年	平成30年	増減	
		11月末	11月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
刑法犯少年		1,350	1,657	-307	-18.5
凶悪犯		12	31	-19	-61.3
粗暴犯		275	328	-53	-16.2
窃盗犯		740	886	-146	-16.5
知能犯		23	64	-41	-64.1
風俗犯		42	33	9	27.3
その他		258	315	-57	-18.1
うち占離		93	129	-36	-27.9

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	令和元年	平成30年	増減	
		11月末	11月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総数		1,350	1,657	-307	-18.5
未就学					
小学生		216	193	23	11.9
中学生		404	513	-109	-21.2
高校生		426	474	-48	-10.1
その他学生		55	85	-30	-35.3
有職		163	237	-74	-31.2
無職		86	155	-69	-44.5

4 初発型非行の状況

区分	年別	令和元年	平成30年	増減	
		11月末	11月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総数		657	792	-135	-17.0
万引き		400	431	-31	-7.2
オートバイ盗		56	82	-26	-31.7
自転車盗		108	150	-42	-28.0
占有離脱物横領		93	129	-36	-27.9
刑法犯少年に占める率(%)		48.7	47.8	0.9	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の12.6パーセント(前年同期比-1.5ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の54.8パーセントを占め、次いで粗暴犯の20.4パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(8,312人)と深夜はいかい(4,184人)が全体の89.4パーセントを占めている。